

5月14日 生徒会主催 今年度初めての「アルミ缶回収」

今日は生徒会主催の初めての「アルミ缶回収」の日。無理のない範囲で自主的にアルミ缶をもってくる生徒が瑞浪北中学校にはたくさんいました。中には、アルミ缶がぎっしり詰まった大きなビニール袋を両手に持ち、坂道を登ってくる女子生徒も。バス通の生徒の中にも、アルミ缶をもって登校する生徒がいました。

集めた空き缶をためて時期を見て換金し、それを募金や寄付などを通して、社会のために役立てます。これは生徒たちが主体的に考えた「地域貢献」の一つです。金さえ出せば容易に手に入るアルミ缶ですが、生徒たちにとっては缶の中身以上に尊いものであるようです。



もってきたアルミ缶をかごに入れる生徒